

町田市バイオエネルギーセンター運営協議会（第7回）

議事要録

- 日時 2024年8月21日（水）14時00分～15時30分
- 場所 町田市バイオエネルギーセンター 管理棟3階会議室
- 出席 委員：高橋会長（もみじ台）、小林副会長（忠生中央）、佐藤委員（桜美林台）、
藤田委員（下小山田）、川畑委員（忠生忠霊地区）、
福岡委員（忠生自然）、守屋委員（根岸）、甲野藤委員（清住平）
専門委員：佐々木委員
- 欠席 9名（代理出席 なし）
- 事務局 : 塩澤環境資源部長、徳重循環型施設担当部長
循環型施設管理課 : 平川課長、田中担当課長、黒須担当係長、石川主任、阿曾主事
ごみ収集課 : 田中課長
環境政策課 : 池澤課長
運営事業者 : 町田ハイトラスト株式会社
コンサルタント : 株式会社日建設計
- 傍聴者 0名
- 配布資料
次第
町田市バイオエネルギーセンターの運転状況について……………【資料1】
多摩ニュータウン環境組合からのごみの受入れについて……………【資料1（補足）】
バイオガス化施設前処理施設火災復旧スケジュール……………【資料2】
施設運転（騒音、悪臭等）に関するご意見受付フロー（案）……………【資料3】
町田市バイオエネルギーセンター消防訓練実施結果の報告……………【資料4】
専門委員会設置要領の一部改正について（案）……………【資料5】
排水浄化センター内における薬品漏洩事故について（報告）……………【資料6】
バイエネ君 施設見学者1万人達成イベントについて……………【資料7】
学ぼう！涼もう！遊ぼう！～バイエネ君との夏休み～……………【資料8】
3Rまなびフェスタ 夏……………【資料9】
イチゴ栽培に利用する実証に関する報道関係者向け取材会の実施について…【資料10】
充電式小型家電の回収が始まりました（2024年8月から）……………【資料11】

1 開 会

○開会挨拶

塩澤環境資源部長より、開会のあいさつを行った。

2 委員交代

新任委員として、矢部町内会（酒井委員）、平川循環型施設管理課長の紹介を行った。

専門委員のうち、出席されている佐々木委員にあいさつをいただいた。

3 議 題

(1) 町田市バイオエネルギーセンターの運転状況について（2024年1月～6月）

事務局より、資料1を用い、町田市バイオエネルギーセンター運営協議会の所掌事項である排ガスの測定結果など、運転状況について報告した。また、資料1（補足）を用い、第6回（前回）運営協議会で説明した多摩ニュータウン環境組合からのごみの受入れ（町田市域分）について報告した。

（以下、主な質疑応答）

- | | |
|-----------------|--|
| 高橋会長 | バイオガス化施設ガスエンジン発電機の運転状況を説明してください。 |
| 事務局
（黒須担当係長） | 2023年11月の火災事故以降、バイオガス化施設にごみを投入することができないので、ガスエンジン発電機排ガスを連続測定できる時間を確保できるような運転はできていません。 |
| 川畑委員 | 多摩ニュータウン環境組合から受け入れたごみの処理費用には減価償却費を含んでいますか。
また、多摩清掃工場での火災の原因が不明とのことですが、町田市の施設でも発生する可能性があると思いますので、情報収集など取組みについて説明してください。 |
| 事務局
（平川課長） | 多摩市、町田市、八王子市の3市と多摩ニュータウン環境組合の4者では事故等が発生した際にごみ処理を応援する実施協定を締結し、処理費用1,000円/tでごみ処理を行うことになっており、現在、町田市からも多摩清掃工場に支援を要請している状況にあります。処理費用の金額は今後、見直しすることもあります。協定の中で減価償却費を含まない実費相当分と決められています。
多摩清掃工場の火災の原因については、詳細を把握していませんが、電気設備の老朽化により発生したと報告を受けています。 |

守屋委員 町田市域の多摩ニュータウン環境組合の区域のごみ量は、町田市全体に対する割合はどの程度ですか。

事務局
(塩澤部長) 以前は小山ヶ丘の多摩ニュータウンエリアだけで、2 千数百 t/年のごみ量で約 3%でしたが、多摩清掃工場の安定稼働のため、2022 年度から町田市と八王子市の区域を拡大し、町田市内のごみ量の約 8% (約 8,000t/年) となっています。

(2) バイオガス化施設前処理施設火災復旧スケジュール

事務局より、資料 2 を用い、事務局より、町田市バイオエネルギーセンター内のバイオガス化施設で発生した火災の復旧スケジュールについて説明した。

(以下、主な質疑応答)

高橋会長 約 2 年あまりの復旧工事になるとのことですが、被災したのは発酵槽投入前の破碎装置でしたでしょうか。

事務局
(黒須担当係長) 資料 1 の p.7 の⑤破碎装置、⑥破碎選別装置から、⑦生ごみピットまでのコンベヤがすべて損傷しました。また、火災対策の見直しや一部損傷した生ごみピットの補修に時間を要する状況になっています。

高橋会長 約 2 年間、施設が停止するというのは深刻な状況だと思いますが、火災の事前対策・予防について教えてください。

事務局
(徳重部長) 2016 年時点の当初設計では、可燃ごみにリチウムイオン電池が混入することは想定していませんでした。不燃・粗大ごみ処理施設にはコンベヤの消火散水装置や警報装置を設置していましたが、バイオガス化施設は部屋全体の警報装置や消火設備のみで、初期消火を行うためのコンベヤの消火散水装置は設置していませんでした。
そのため、バイオガス化施設の前処理設備全体がすべて損傷してしまい、一式更新することになりました。
また、機器をそのまま搬出入する開口を設けていないので、損傷した機器を分解して搬出した後、組立前の新しい機器を搬入して現場で製作・据付するため、工事期間が長くなっています。今年度春から着手している解体撤去工事も 3 か月程度かけてようやく終了しているような状況です。

高橋会長 再発防止対策はどのようにお考えですか。

事務局
(徳重部長) 改修後は、コンベヤにスプリンクラーのような散水設備を新たに設置する方針としています。

高橋会長 リチウムイオン電池が混入し、破碎機で圧力がかかったことにより発火したということではないですか。

事務局 (徳重部長)	ご発言のとおり、リチウムイオン電池が破砕機で圧力がかかったことにより発火したということです。
高橋会長	空港の手荷物検査のような金属探知機で事前に除去することは不可能なのでしょうか。
事務局 (徳重部長)	1 か月後頃にプレス発表される予定ですが、今後、そのような装置の実証実験を行う予定です。
川畑委員	機器の更新に手間がかかるという説明でしたが、将来、交換する時期になれば同様に期間が必要になると考えられます。機器の寿命はどの程度なのでしょうか。
事務局 (平川課長)	一般的には、プラント設備の機器は摩耗、劣化した部品を補修・交換して性能を維持するため、今回の火災による損傷のように機械一式を交換するということはあまり想定していません。 10～15 年毎に行うような計画的な大規模な修繕では想定した工程で進めることになってますが、火災による損傷を一括して更新するため影響が大きい状況になっています。
川畑委員	そうすると、バイオガス化施設は、復旧後は長期間停止することなく稼働するということで良いですか。
事務局 (平川課長)	機械設備ですので定期的な修繕等を行います、基本的には常時稼働して運用することになります。
川畑委員	前回の運営協議会でもお願いしていますが、被害金額を市民に周知して、リチウムイオン電池の分別の協力を啓発して欲しいと考えています。
事務局 (徳重部長)	ご指摘のとおり、被害額を算出して火災により大きな損害が発生することを積極的に伝えて市民のご協力を仰いでいきたいと考えています。
守屋委員	バイオガス化施設を併設したごみ処理施設の事例は少ないと思いますが、今回のような想定外の火災事故に対応する措置の前例はあるのですか。
事務局 (徳重部長)	バイオガス化施設を併設したごみ処理施設ではありませんが、栃木県内の熱回収施設の事例では、相当の額の被害が出ていると聞いています。バイオガス化施設での火災事例は把握できていませんが、環境省のデータでは全国で約 400 件/年が発生していると記憶しています。また、興味深いデータとして、リチウムイオン電池や小型家電を分別回収している自治体の火災件数は分別していない自治体よりも 4 割程度低いと言われています。 町田市でも、2022 年 7 月からリチウムイオン電池等の小型充電式電池の回収を行い、また、2024 年 8 月から充電式小型家電の分別回収を開始してい

ますので、リチウムイオン電池検知システムと合わせて分別収集方法を見直すことによって、より火災を防止できるものと考えています。

(3) 施設運転（騒音、悪臭等）に関するご意見受付フロー（案）

事務局より、資料3を用い、施設運転（騒音、悪臭等）に関するご意見受付フロー（案）について説明した。

（以下、主な質疑応答）

川畑委員 市民への対応については市が主体で対応するのですか。運営事業者が主体的に回答するのかなど、どのような取り決めになっているのでしょうか。

事務局
（黒須担当係長） 窓口として運営事業者が受け付けますが、市民への報告などの対応は市が行うことになります。

川畑委員 必ず市が関与するという事で理解しました。

藤田委員 市民から連絡があった場合、夜間であれば電話を録音しても、現場を直接確認することが必要かと思いますが、その点はいかがでしょうか。

事務局
（黒須担当係長） 深夜時間帯等で市職員が不在の場合でも、運営事業者が電話を受けて現場を確認できるような受付フロー（案）を提案しています。

高橋会長 電話をかけた本人に対して確認した状況をどのように報告するのですか。

事務局
（黒須担当係長） 対応結果の報告を希望される方には、録音された連絡先に市職員から連絡することといたします。

高橋会長 その点はきちんとしてほしいです。

（とくに異議なく、運用開始することとなった。）

(4) 町田市バイオエネルギーセンター消防訓練実施結果の報告

事務局より、資料4を用い、消防訓練の実施結果について報告した。

（以下、主な質疑応答）

藤田委員 火元の想定場所を不燃・粗大ごみピットとしていますが、その他に火元と想定される場所はあるのでしょうか。

事務局 (黒須担当係長) 火災が発生しやすい場所としては、不燃・粗大ごみ処理施設の処理フロー(p.8)の⑨高速回転破碎機と⑩磁力選別機との間のコンベヤなどが想定され、消火散水設備を設置して日常から注意して運転しています。

川畑委員 消火活動で使用する消火設備は通常の消火器だけで十分なのか、消火設備について説明してください。

事務局 (徳重部長) 初期消火を行う消火器の他、消防法に基づいて屋内消火栓設備を設置して適法な状態になっています。

(5) 町田市バイオエネルギーセンター専門委員会設置要領の一部改正について(案)

事務局より、資料5を用い、専門委員会の設置要領の一部改正(案)について説明した。

(以下、主な質疑応答)

守屋委員 施行日はいつとするのでしょうか。4月1日に遡及適用とする改正は問題ではないでしょうか。

事務局 (黒須担当係長) ご指摘を踏まえ、施行期日を9月1日とし、任期は4月1日からとするという改正を提案させていただきます。

高橋会長 そのように修正してください。

(ほかに異議なく、修正し運用開始することとなった。)

4 町田市からのお知らせ・町田市事務局からの連絡事項

(1) 排水浄化センター内における薬品漏洩事故について(報告)

事務局より、資料6を用い、排水浄化センター内における薬品漏洩事故について報告した。

(以下、主な質疑応答)

藤田委員 事後報告ではなく、少なくとも近隣の下小山田町内会に報告されるべきかと思います。

事務局 (黒須担当係長) 周辺への影響が特段なかったのもので事後報告となりましたが、今後は速やかに報告させていただきます。

(2) バイエネ君 施設見学者 1 万人達成イベントについて

(3) 学ぼう！涼もう！遊ぼう！～バイエネ君との夏休み～

(4) 3R まなびフェスタ 夏

(5) バイエネ君で生じる燃焼ガス中の CO₂ をイチゴ栽培に利用する実証に関する報道関係者
向け取材会の実施について

(6) 充電式小型家電の回収が始まりました（2024 年 8 月から）

事務局より、資料 6 ～ 11 を用い、2024 年 2 月の第 6 回運営協議会以降に行われたイベント
等について報告した。

（以下、主な質疑応答）

高橋会長 充電式小型家電を「有害ごみ（電池）」の茶色のかごに入れるとのことですが、充電式小型家電の大きさの制限の注意書きなどは表示されていますでしょうか。

事務局
（ごみ収集課） p.22 の写真のとおり、これまでの「有害ごみ（電池）」の茶色のかごに「充電式小型家電」のラベルを貼り付けて、分かりやすいように案内しています。

高橋会長 分かりにくいようにも思いますので、収集作業の邪魔になってはいけませんが、ラベルサイズを強調するなど工夫して欲しいと思います。

事務局
（田中（道）課長） ラミネート加工した説明書をかごの底や側面に貼ることを検討しましたが、収集委託業者が 10 段程度積み重ねることから強度が不足するということで断念した経緯があります。
市民に分かりやすく伝えるため、来月頃に投函する来年度のごみ収集カレンダーの回収日の欄にイラスト入りで記載することになっています。
その他、広報活動を積極的に取り組んでいきたいと思っています。

甲野藤委員 ごみ集積場に説明チラシを貼れば分かりやすくなるのではと思います。

高橋会長 ごみ集積場が何か所あるのかが問題かと思っています。

事務局
（田中（道）課長） 表示できるようなごみ集積場を管理されているかのご意向などもお聞きして、できる限り対応していきたいと考えています。

川畑委員 3R まなびフェスタ夏のお知らせを回覧したという説明でしたが、回覧時期等を教えてください。

川畑委員 また、大規模地震発生時における見学者の避難体制などをどのように検討しているか教えてください。

事務局
（平川課長） 3R まなびフェスタ夏については、7 月に市民協働推進課に送付して配布いただくよう手配していました。

見学者の避難については、受付で人数を把握して職員が必ず同行する方法で対応していますので、災害発生時には安全に避難していただくよう行動したいと考えています。

事務局
(徳重部長) 運営事業者との合同訓練や市単独の防災訓練において、2 階のリサイクルショップまちエコに来客者がいたという想定で避難訓練を行っています。本日のご意見を踏まえ、今後、来客者だけでなく見学者も含めた防災訓練を実施したいと思います。

川畑委員 3R まなびフェスタ夏の回覧時期を確認したら 7 月 16 日でした。開催日は 8 月 31 日ですので、忘れてしまわないように回覧時期を工夫していただければと思います。

(7) その他

第 6 回運営協議会の議事録は、委員の確認が得られたので、近日中にホームページに掲載する予定であることを報告した。

次回の運営協議会の開催予定として、2025 年 2 月の頃であることを伝えた。

(以下、主な意見回答)

小林副会長 資料の分量が多いと会議の場で内容を理解するのは大変なので、事前配布いただければ理解が深まると思います。できれば事前に資料配布いただくよう、お願いいたします。

事務局
(徳重部長) 貴重な御意見ありがとうございます。次回以降、対応いたします。

4 閉 会

徳重担当部長より、閉会のあいさつを行った。